

セッションタイトル

将来技術・社会を支える LCA の在り方研究会（将来 LCA 研究会）活動報告

2026 年 3 月 5 日(木) 11:00~12:20 A 会場

セッションの趣旨・概要

「将来技術・社会を支える LCA の在り方研究会」（将来 LCA 研究会）が昨年 8 月から活動を開始しており、現在、40 名の方々が参加している。本セッションでは、将来 LCA 研究会が目指す方向性とその議論の内容について報告し、LCA 学会員の方々と交えた幅広い議論を行う。

現在、将来 LCA 研究会では、手法論ワーキンググループ (WG) とデータベース WG の 2 つの WG が立ち上がって活動を行っている。手法論 WG では、メンバーが今後必要と考える LCA の手法についてのアイデアを出して意見交換をするとともに、2 つの製品（衣服と紙）の全てのライフステージを想定し、どのような手法が今後求められるようになるかを検討している。一方、データベース WG では、どのようなデータベースが今後の LCA に求められるようになるかを自由に発想・提起をして、将来データベースに不可欠となる将来シナリオを設定するうえでの留意点を確認しながら、将来、どの技術がどのセクターに使われるようになるかを議論している。本セッションでは、これらの活動報告等をもとに、将来指向の LCA に必要なタスクや乗り越えるべき課題を議論する。

セッションの構成

1. 将来 LCA 研究会の趣旨説明
2. 手法論 WG の活動紹介と
3. データベース WG の活動紹介と
4. 将来 LCA にむけた議論

オーガナイザー

田原聖隆・産業総合研究所

田崎智宏・国立環境研究所

一杉佑貴・産業総合研究所